那須地域

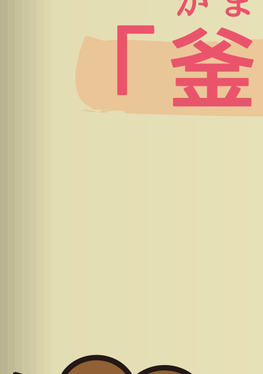
8月1日は「釜の蓋の日」

8月1日はみんなで
まんじゅうを食べよう!

「釜の蓋まんじゅう」とは?

8月1日は、釜蓋朔日（かまぶたのついたち）と呼んで、
地獄の釜の蓋が開く日とされています。
地獄とは「あの世」。
地獄の釜の蓋を開けるように命じるのは、閻魔大王です。

お盆には、あの世からご先祖様が帰って来ます。
でも、あの世からの道は遠くて、
8月1日に出発しなければ、お盆に間に合いません。
ご先祖様たちは、その日を待ちかねたように釜の蓋から飛び出します。



那須地方には、古くからご先祖様を迎えるための行事の一つとして、
8月1日に釜の蓋が開いたことを喜び、たんさんまんじゅうを作ります。
それを笹の葉を敷いてお供えし、
自分たちもまんじゅうを食べる風習があります。

これが「釜の蓋まんじゅう」です。

たんさんまんじゅうのほか、かぼちゃまんじゅうや黒糖まんじゅうなど、店舗によって様々なおまんじゅうを販売予定です。ぜひお買い求めください。

主催　北那須産直連絡会(協賛:那須地方農業振興協議会)

お問い合わせ　栃木県那須農業振興事務所
大田原市本町2-2828-4 TEL 0287-23-2151

釜の蓋まんじゅう取扱店の情報はこちら

NASU.NOUSIN

農村の魅力発信中!

那須農業振興事務所 instagram